

このあたりの取組が必要かなと思っております。

担当委員会は総務のほうになるんですかね。そのあたりも少し、今度の新しいメンバー構成で、その辺の視察あたりも今後考えていただいて、少し、勉強、研究をしていただければなと思っております。

担当部のほうも、いろいろ、今回、問題提起いたしましたけれども、森・川・海・里づくりもそうです。それから、人口減少対策もそうです。それから、有害鳥獣もそうでしょうけれども、担当職員がいろいろな御苦勞なさっているのを重々私も承知をしております。

山の中もお一人では当然危険性がございますので、何らかの対策、対応を進めながら、——今の状況は本当に悲惨な状況ですね。各地域では、森の再生ということで、植林とかをされている地域もございますけれども、これを少し全島に広げるような、市内に広げるような、拡充するようなことも、今後、当然考えていただきながら進めていただければなと思っております。

いろいろ大変な状況かと思っております。職員数も減少しつつ、これから十分な取組がまだまだできないというジレンマがあらうかと思っております。

私たちも質問する一方的な質問ではなくて、やっぱり何らかの形でいい方向にあれば、当然、もう少し勉強もしながら進めたいと思っておりますので、また、御提案等ございましたら、市長のほうからも何かございましたら是が非でも問題提起をしていただきたいと思いますと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

以上で終わります。ありがとうございました。

○議長（小川 廣康君） これで、伊原徹君の質問は終わりました。

○議長（小川 廣康君） 暫時休憩をします。再開は1時55分からとします。

午後1時41分休憩

午後1時54分再開

○議長（小川 廣康君） 再開します。

引き続き、市政一般質問を行います。

5番、小島徳重君。

○議員（5番 小島 徳重君） 皆さん、こんにちは。会派つしまの小島徳重でございます。本日最後の登壇となりました。市長さんをはじめ、皆さんお疲れのこととは思いますが、実りある御答弁をお願いしたいと思います。

それでは、通告に従い、3項目5点お尋ねいたします。

1項目め、観光振興の推進についてお尋ねします。

対馬を訪れる観光客の方々からよく聞く言葉は、「対馬の自然、歴史、文化は魅力的で、日本の原風景を見ることが出来る。住民も親切で、温かいもてなしを受けた」などのプラス面の評価がある一方、マイナス面として、トイレの少なさ、案内板・説明板の不備を指摘されることがあります。

そこで今回は、観光地等の案内板・説明板の整備に絞って質問します。

観光地、文化財の案内板・説明板の新設、改修を積極的に推進し、観光客がガイドなしでも周遊・観光できる観光の島づくりを目指し、コロナ後の観光客受入れに備えるべきではないでしょうか。市長の見解を伺います。

2項目め、子育て支援の充実についてお尋ねします。

まず1点目、雞知を中心に、美津島地区では、第1希望の雞知保育所に入所できず、やむを得ず厳原地区の保育施設に入所している状況が継続しています。女性の就業率が高まる中、保護者のニーズに応じた保育体制の整備が求められています。市長の見解を伺います。

2点目、雞知地区の放課後児童クラブ（学童）は、雞知保育所内から高齢者コミュニティセンター内に移転し、運営されていますが、室内のスペースは狭く、戸外の遊び場にも恵まれていません。場所の変更も含め、改善が必要ではないでしょうか。市長の見解を伺います。

3点目、豊玉町を中心とした中地区の保育体制の整備が求められています。3年度予算案に、こども園設置に係る調査費、設計費用が計上されていますが、今後の開設までの見通し、園の形態等についてお尋ねします。

大きな3項目め、美津島町の東地区の水道事業についてお尋ねします。

美津島町東地区の水道事情の改善については、平成30年9月定例会において一般質問をいたしました。その際、市長からは改善に向けて指示をしたとの答弁がなされました。その後、どのような改善がなされたかお尋ねします。

任期中、最後の一般質問となりました。市民生活の課題解決、向上に一歩でも近づけるよう、簡潔明瞭な御答弁をお願いいたします。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 小島議員の質問にお答えいたします。

初めに、観光振興の推進についてでございますが、観光地・観光素材の案内板及び説明板につきましては、御存じのとおり、これまでも継続して整備を行っているところでございます。

近年は、神話の里、あそうベイパーク、鮎もどし公園など、写真つきの大きな案内板設置を実施しており、今年も鳴滝に設置をいたしました。

また、説明板につきましては、平成30年度に、万松院、お船江、金田城、和多都美神社、異国の見える丘展望台、豊砲台跡などの、主要観光地の説明板の改修・整備を実施したほか、平成

30年度から今年度にかけて、朝鮮通信使の案内板を、関係する場所に9か所設置しているところでございます。

よって、ここ3年間は、観光関係の案内板が10か所、観光説明板は25か所整備しております。

文化財関係の案内板・説明板につきましては、教育委員会において、随時改修を行っており、平成29年度の文化財保護審議会において、案内板を含む周知・広報の整備についての助言を受け、平成30年度に全体的な調査、状況把握を行い、整備の優先順位を協議しております。

令和元年度以降は、その優先順位に沿って、計画的に市内全域における文化財の説明板などの改修を行っており、昨年度から今年度にかけて6件改修しております。来年度は、大船越にある案内板を既存の観光案内板と同一デザインでの作成を計画しております。

一方、トレッキング関係では、トレッキングルートの矢印等を整備しているところでありますが、毎年数件は道迷いが発生しており、昨年は金田城登山の高齢者が警察署に救助を要請する事案が発生しております。

対馬市及び警察署、消防署、消防団、陸上自衛隊のトップをメンバーとした山岳救助ネットワーク協議会も発足しており、昨年11月には南警察署のお声かけにより、振興局や森林組合、文化財課も加わった関係機関による山岳遭難・行方不明事案防止対策会議が開催され、連携を密にすることを確認したところであります。

また、本市では、登山用地図アプリ提供会社と提携し、対馬用にカスタマイズした登山道をダウンロードできるQRコードの専用ポスターをこの3月に、空港、厳原港、比田勝港に掲示し、ダウンロードを推奨するようにしております。これは、携帯の電波のない場所でもGPSにより現在位置が把握でき、安全に登山できるサービスであります。対馬市や観光物産協会のホームページにも掲載する予定としております。

さらに、このようなGPSなどを活用した観光ガイドシステムを導入したいと考えております。観光地等への誘導及び観光地での音声ガイドサービスなどを提供するもので、今年からその準備を行っているところでございます。

現在対馬は、話題の「ゴースト・オブ・ツシマ」をはじめ、年末から「世界ふしぎ発見」や「沸騰ワード10」など、テレビでの露出も増え、非常に注目を集めているところであり、外国人の行ってみたい日本の観光地でのベストテンに入っているとのことでございます。

コロナ終息後は、日本国中のみならず、世界中から対馬へ観光客が押し寄せることを期待しております。一朝一夕にはまいりませんが、議員のおっしゃるとおり観光の島づくりを目指して、着実に各種コンテンツの整備をしていきたいと考えております。

次に、2点目の美津島地区における保護者のニーズに応じた保育体制の整備についてござい

ますけれども、美津島地区におきましては、雞知保育所、大船越へき地保育所、西へき地保育所とございます。その中で、雞知保育所につきましては、公立保育所の中で、施設規模、入所児童数ともに一番大きな施設であり、例年、約130名から140名前後の園児を受け入れており、他の保育所と比較いたしましても、入所者の大きな減少などもなく運営しております。

雞知保育所への入所希望者に対しましては、その要望にできる限りお応えするために、遊戯室の利用や各年齢層の園児数、各保育室の面積などを勘案しクラス配置を行うなど、一人でも多くの園児を受け入れるよう対応しているところでございます。

このような状況の中で、年度当初または年度途中の入所において、各年齢層の入所状況により、相談、調整の結果、巖原地区の保育所へ入所いただいた案件も数件ございます。

美津島地区、特に雞知地区につきましては、市内でも若い子育て世代が多く住む地区となっており、これからも子供たちが大きく減少することはないものと捉えております。つきましては、今後におきましても、子育て世代のニーズにお応えするため、現施設の改修・整備も含め、関連施設との総合的な利活用を図ってまいりたいと思っております。

次に、雞知地区の放課後児童クラブの施設についてでございますが、放課後児童クラブにつきましては、現在、市内において5事業者により6施設が運営されております。その中で、御質問の雞知地区における放課後児童クラブは、昨年度まで同事業者により雞知保育所内と高齢者コミュニティセンター内の2か所で運営されておりましたが、保育所の保育室の利活用を図る上で事業者と協議の上、雞知保育所内で開設しておりました放課後児童クラブを、今年度から高齢者コミュニティセンター内へ移動いただき、同施設1か所にて運営いただいております。

現在、高齢者コミュニティセンター内で運営されているのは、「学童保育けいめい」ですが、利用者は34名となっております。

これらの放課後児童クラブの開設場所につきましては、基本的に事業者が施設を選定し、国の運営基準を満たした上で開所することとなりますので、市といたしましては事業者の運営計画等を確認し、適当であれば運営に対する助成を行うこととなります。

「学童保育けいめい」につきましても、これらの基準を満たした上での運営となっております。また、戸外の遊び場につきましては、施設に隣接する公園や広場があり、それらを活用いただいているところであります。

次に、豊玉地区における保育体制の整備についてでございますが、現在、豊玉地区には、豊玉南保育所、仁位へき地保育所があり、2保育所で81名の園児が通園しております。御質問の豊玉地区における保育体制の整備につきましては、現在、豊玉南保育所と仁位へき地保育所を統合し、豊玉地区内での認定こども園建設に向けた取組を進めており、現在、建設予定地につきまして市有地を基本とし、選定を進めております。

この認定こども園の開園により、中対馬地区において、新たに幼稚園教育の提供を行うことができるようになり、また、老朽化した現施設の更新を行うことで、より安心・安全な保育環境の提供が図られるものと考えております。

また、今月開催予定の子ども子育て会議におきまして、その認定こども園開園を含めた今後の保育所配置計画につきまして御協議いただく予定でございますが、豊玉地区の認定こども園につきましては、現時点での計画で令和5年4月の開園を目指しております。

次に、3点目の美津島町東地区の水道事情についてでございますが、平成30年第3回定例会における一般質問の際にも同様の質問がなされ、改善に向けた取組を実施するとの答弁を行っております。

改善に向けた取組内容でございますが、水道水の濁り等の改善のため、令和元年度に千馬浄水場の前処理ろ過機改修工事を、令和2年度への繰越事業として千馬浄水場の濁度計、次亜塩素注入ポンプの取替えを行っております。

また、水源不足を補うため、令和元年度に雞知地区簡易水道の一部の配水管と接続しております。

さらに、安定した水の供給を図るために、新たな水源の確保を目的とした地下水開発事業を令和2年度に施行中であり、電気探査等により可能性のある箇所を選定し掘削を行っておりますが、期待できる成果を得ることは難しい状況でございます。

次に、本年1月に起こった東地区簡易水道内の複数の地区の断水、濁りに対する原因でございますけれども、昨年9月中旬以降まとまった雨が降らず、水源の確保が十分にできない状況に加え、1月6日から10日にかけての強力な寒波の襲来により各家庭などの給水管の凍結、破損による漏水が多発したため配水量が急激に増加し、供給量が追いつかず、配水池が空の状態となったことにより断水となったものでございます。

水道水の濁りにつきましては、断水解消のための給水バルブの切替え作業により配水管を流れる水の速さなどが変わったことで、配管内のさびなどの汚れが剥離したことにより生じたものと考えております。

また、一度断水などのトラブルが発生しますと、給水エリアが大船越地区から濃部地区までの広範囲で配水管延長も長く、配水池も多数点在するため復旧に時間を要し、断水等となった地区の皆様には大変御迷惑をおかけいたしました。

今後につきましては、適正な施設管理や水質管理体制の一層の強化を図ることはもちろんでございますけれども、今定例会で審議をお願いしております令和3年度当初予算においても、東地区簡易水道の改善のための経費を計上しているところであります。

今後も安全で安心できる良質な水道水の供給に努めてまいります。

以上でございます。

○議長（小川 廣康君） 5番、小島徳重君。

○議員（5番 小島 徳重君） 御答弁ありがとうございました。

まず、生活に直結する水道事業のほうからちょっと確認をして、お尋ねをしたいと思います。

市長答弁にあったように、1月初旬の寒波のときの状況については、市長あるいは水道局長はじめ役所の皆さんは、十分に把握をしてあると思いますので、ここでこう繰り返す必要はないと思うんですが。

市長、平成30年のときの一般質問のときに申されたんですけども、東地区は、ずっとこう従来から水対策には頭を悩ましてあると、住民の方々もいろいろお困りの方が多いという現状があるんですが、そのときに断水の原因として市長が挙げられたのが、漏水による水不足や老朽管の破損、寒波による管の破裂、それからポンプ等機器の経年劣化等による故障が原因となっておりますというふうにお答えなられて、そして、もう既に指示をしましたという御答弁を頂いたところなんですが、今回の寒波による、いわゆる凍結、あるいは管の破裂等があったわけですけども、私、地区の方々から聞いた声の中に、なかなか復旧しないというのが市長おっしゃった理由であると思うんですが、それ以外で、本管が壊れたんだというふうに住民の方は聞いてある方がおられました。このことについて、私も水道のほうの担当には直接は確認をしてないんですが、そういう事実があったのかどうかということはいかがでしょうか。

どこか大きなところ——個別の各家庭の給水管じゃなくて。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） この本管、また、ほかの配管関係については担当部長のほうから答えていただきますけども、先ほど議員のほうからも御指摘がありましたように、この東地区の水道施設につきましては、何せ、水がちょっと心配だというようなことで電気探査を実施した結果、ちょっと有望な箇所があるということで、この令和2年度にちょっとボーリングをもうやろうということで130メートルほど、ちょっと掘り進めておりましたけども、実際は、ちょっと何か、水がいいところに当たらなかったということで、ちょっと残念な状況となっております。

そのほかの本管また配管関係の状況につきましては、担当部長のほうから答えていただきます。

○議長（小川 廣康君） 水道局長、立花大功君。

○水道局長（立花 大功君） 議員の質問にお答えいたします。

給水管は各地区でありまして、本管のほうは、ただいまこちらで聞いてるのは、大船越地区で本管のほうの破裂があったと聞いております。

以上です。

○議長（小川 廣康君） 5番、小島徳重君。

○議員（5番 小島 徳重君） あの、末端の凍結とか、あるいはある程度のところは、凍結して破裂したりするというのは、対馬の中でもこの時期のときにはほかの地区もあったと思うんですよ。

ただ、この東地区については、市長おいおい説明されたようにいろんな事情でなかなか復旧しなかったということがありました。

それで、今新たな水源を求められたということも一応分かりました。

そして、管をはじめそのいろんなポンプ関係とかいろんな施設が古いということも、今回凍結あるいは破裂で長引いたということは理解できます。

それで、市長答弁もあったように、今年度の、いわゆる施設関係の整備に、3億円ぐらいですかね、全島の中で、たしか予算がそうあったと思うんですよ。やはり、この地区については、ここ数十年来のそういう課題があるわけですよ。ぜひ、やはり集中的に、夏場の温水もそうですが冬場の凍結についても大変な事情ですよ。そういったことですから、ぜひ、そういうところは重点的に取り組んでいただきたいということを、もう一度確認をしたいと思いますが、市長のほういかがですか。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 私も従前から申し上げておりますように、ここ東地区の水道施設については、いろいろと水事情関係で問題があるということでもありますので、今後も最大限努力をしてまいりたいと思います。

○議長（小川 廣康君） 5番、小島徳重君。

○議員（5番 小島 徳重君） ありがとうございます。ぜひそうしていただきたいと思います。

それで申し添えておきますけど、この時期、美津島地区の水道課の担当の方、それから本所のほうですか、水道局のほうの職員の方々、それから業者の方々、すごい苦勞してありました。これは、もう日が暮れても寒い中で作業したりしてありまして、それは地区の方も分かってありますし、私も二、三回そういうことを見ましたし、車はしょっちゅう走り回ってありました。そういう努力はぜひ評価していただきたいと思うんです。

ただ、やはり、施設の古さとか、それは職員の努力では解決できない、カバーできない面があるというふうに今回感じています。そういうことで、住民の方々からもいろんな声を聞いていますので、市長のそういう答弁を期待をして、今後、これから先にこういうことが極力避けられるようお願いをしておきたいと思います。

一応、このことは置きたいと思います。

それから次に、順番は、こう、逆になっていく感じなんですけども、豊玉地区の保育体制についても、このことについては、私、当初予算が出る前にこの質問の組立てをしていましたので、

当初予算説明で詳しく説明がありましたし、今市長からも答弁がありましたので、およそ事が理解できました。

豊玉地区の保育体制については、これ、今、美津島の東地区もこちらに通ってありますよね。そして、ゼロ・一・二歳は、いわゆる水崎地区まで行かなきゃいけないという現状があって、大変、美津島の東地区のゼロ・一・二歳を育ててある方々は困ってありますよね。結構な時間がかかります。三歳以上は仁位に預けて、ゼロ・一・二歳は水崎まで行かなきゃいけないと、その御苦労がありますので、豊玉地区に新しいこども園を設置するという事で、それを幼稚園機能を持たせてこども園として発足するという事は大変歓迎すべきことだと思っております。

それで、こども園型にする場合、どういうタイプを——4タイプありますけど、どういうタイプを想定してあるのかが、そのあたり、もし煮詰まっていたら御答弁ください。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） まだ、最終決定はしてないということなんですけど、今後、幼稚園型からいろいろ——たしか4通りほどありましたよね、そこら辺を含めて検討していきたいと思っております。

○議長（小川 廣康君） 5番、小島徳重君。

○議員（5番 小島 徳重君） 今から進められていかれる中で、ぜひ地域の声、それから現在動いている比田勝こども園ですね、その現状、それから私立では巖原の親愛さんが動かしてありますよね。これあたりの現場の声をしっかりと把握していただいて、対馬市の、いわゆるこども園の態勢としてどういうタイプが一番好ましいかということをも十分検討いただきたいと思っております。

現場で私も声を聞いてみますと、やっぱり現場で保育あるいは教育に当たられる先生方の声、それから預ける保護者のほう、そのあたりのニーズは、やはりなかなか行政と、こう、つながりというんですかね、声がつながらない部分があるように、僕は感じました。それで、ぜひ、このあたりは、今から詰められる中で現場の声を聞いていただきたい。

同じことは、施設面についても——やはり公立では比田勝のこども園が動き出していますけど、そのあたりを、施設の運用等を、保育に大きく関わってくるわけですから、そのあたりは教育委員会、それから福祉部門の両方の連携を図っていただきたいと思いますが、そのあたり何か、教育長さん、ございますか。

○議長（小川 廣康君） 教育長、永留和博君。

○教育長（永留 和博君） こども園は、幼稚園機能と保育園機能がありますので、当然、幼稚園機能に関しては、教育委員会も福祉と連携をしながら進めていきたいというふうに思います。

○議長（小川 廣康君） 5番、小島徳重君。

○議員（5番 小島 徳重君） 今、教育長から答弁があったように、私が耳にしている範囲では、

やはりなかなか、部署が違うから、細かい連携のことが、詰めが、今までも甘いところがあったんじゃないかなというふうに感じております。市長、首かしげてありますけど、それは、現場の方々の声を聞いていただければ分かると思います。はい。ぜひ、そのあたりの連携を十分取っていただきたいなということをお願いをしておきたいと思います。

それから、学童の件については、少し状況を知っていただきたいというか、対馬の学童の状況ということで、ここにパネル、一応用意していますけど、施設は、今、雞知の保育所から学童が2つとも外に出たんですね。これは、大いに、福祉のほうでそういう施策、展開をされたということは評価したいと思います。

それで、保育所のほうが手狭だったのが、学童が補助金の関係でもう年数が来たから外に出てもいいということになったから出たんですね。出て、保育所の中は広がって使いやすくなった。これは大いに評価すべきなんですけど。

ところが、出ていった学童のほうは、一応公的な基準は、1人当たり1.65平方メートルという基準があって、私もその基準を見させてもらったら、広さに合わせて定員を抑えていますからクリアしていますよね。これ、部長御存じですけど。

ところが、行ってみますと、やっぱ初めからそういうふうに学童用に作った施設ではないし、それから遊び場も、近くに公園がありますとおっしゃるけど、そこから公園に行くには一旦県道に出なきゃいけないですよ、上見坂路線の。

そして、今度は、そこの出入口は車も停めてあって狭いです。

そして、中のスペースの狭さ、遊び場の少なさ、そういうことからして、これは、あそこでずっと学童を続けるというのは、これはちょっといけないと思います。

そのあたり、市長、現場把握されておりますか。されてなければ、もし、部長でも結構ですけど。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 私も一度、このほうには出向いたことがありますけども、ただ、議員おっしゃられるように、確かに、その前の、すぐ前に公園がありますけども、その公園には、直接は行けんというのは、私は、そこは初めて今分かりました。一旦県道に出てからっていうんですかね、これ。そこは、また後で再度見させていただきたいなと思いますけども。

ただ、他のこの放課後児童クラブ関係で、要は、このように広い公園等がすぐ目の前にあるようなところは、巖原の放課後児童クラブを除いたらないのかなと、特に豊玉とか比田勝とか、あちらのほうはないのかなと思っておりますが、何せ一回、また再度そこら辺を頭に入れながら現場のほうにも行ってみたいと思います。

○議長（小川 廣康君） 5番、小島徳重君。

○議員（5番 小島 徳重君） はい、ぜひ行ってみられてください。子供たちがおる時間帯にです。

そして、まあ、市長忙しい身ですから、そんなに長い時間おられないですから、担当の方でも結構です。迎えに行かれる時間帯とか、駐車スペースも狭くて、入り口狭いです。そこで対馬で一番子供が多い難知地区の学童を続けるというのは、これ、いけないと思います。

私は、場所の変更も含めてということでしたら、市長、なかなか場所ないですよと言われたのですが、新子ども総合プランを目にされましたか、市長。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） そのところは、正直、まだよく見てません。

○議長（小川 廣康君） 5番、小島徳重君。

○議員（5番 小島 徳重君） それで、一応、私、資料をタブレットにも出してますけど、タブレット開いていただいてよろしいですか。

この1枚目のパネルですけど、場所、あるんです。ここに書いてあります「学校施設を徹底的に活用する」というのが、新子ども総合プランの国の方針です。その内容は、多分、福祉保険部長は御存じだと思います。

これは、何かやろうとしたときに、今までは、行政からの答えが来るときには、財政的に大変なんですとかおっしゃるけど、財政的に何も——金要らないんですよ。自分たちが通ってる学校の施設をそのまま使いましょうというのが、国の方針です。

いかがですか。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） この件につきましては、以前も、私、見ておりましたけども、ただ、この、学校内にこれを移すということ、——たしか、空き教室とか、そういったところを活用するというようなことであったかなと思いますけど、ここら辺の、今、協議等がかなり必要になってくるのかなということで、この件については担当部長のほうに答えてもらいます。

○議長（小川 廣康君） 福祉保険部長、古里正人君。

○福祉保険部長（古里 正人君） 小島議員の御質問にお答えさせていただきます。

確かに、学校空き教室を使えるということは、国のほうから指針で早くから発せられておりましたけども、教育委員会部署との連携の中で、その管理は誰が一体するのかということが問題になってまいります。時間外になりますので、学校のほうでは管理が行き届かないということで、それでは、その施設を誰が管理をするのかというのが問題になって、今のところ計画が先に進んでないという状況でございます。

○議長（小川 廣康君） 5番、小島徳重君。

○議員（5番 小島 徳重君） ああ、部長、そういう答弁なされました。はい。

あの、確かに以前なら、そういう御答弁で納得できるかも分かりません。

ただ、この新子ども総合プランが出たのは、平成30年の9月14日です。

これ、全国の自治体あるいは教育委員会には通知が行ってるんですけど、その中のことを読み上げてみます。「余裕教室の活用に加え、学校の特別教室や図書館、体育館、校庭など、けがが発生した場合の保健室を含むスペースや、既に学校の用途として活用されている余裕教室を、学校教育の目的には使用してない放課後等の時間帯について、放課後児童クラブ及び放課後子ども教室の実施場所として活用するなど」というふうな、国からの通知が行っています。これ、教育委員会は多分御存じだと思います。自分たちの所管する施設を使うわけです。

それで、今、部長が言われた管理がというのは、これは、確かに学校は、管理職は、勤務時間は4時半なりで終わりますよね。あるいは5時前で終わりますけども、その後は、施設使うのは、いわゆる施設を運営する法人なり団体が管理するわけです。そのための人的な措置もなされるわけですから。ぜひ、このことについては再度確認をしていただきたい。していただいて、子どもたちに、放課後思い切り活動ができて、放課後の生活が豊かになるような施策を打ち出していきたいと。

これ、午前中、春田議員が言われた放課後子供教室という、——これは文部科学省主体で動いてますよね、生涯学習課の主体で、この事業と一体化してやってもいいとあります。それが、春田議員おっしゃったように、子供たちが学校で社会体育スポーツだけじゃなくて、地域の盆踊りなり、あるいはいろんな遊びなりもできるんです。

このことについて、今、市長、今私が読み上げたこと等を併せて、お考えがあればお聞かせください。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） ただ、ここで、私、気になりますのが、この放課後児童クラブの開設場所等につきましては、基本的には、その事業者が施設を選定するところが記載されておりますので、こここのところが若干気になるころではあります。

そういう中で、確かに、空き教室がまずそこにあるのかというのも、私、まだ把握もしておりませんし、今後調べていきたいなと思います。

○議長（小川 廣康君） 5番、小島徳重君。

○議員（5番 小島 徳重君） あのですね、市長、詳しく文面見てないから、よく後で見てください。

空き教室じゃなくてもいいんです。余裕教室じゃなくても、放課後使ってなかったら、図書室でも、家庭科室でも、体育館でも使っていいというのが、この政府の通知です。ね。これを十分、

また、教育委員会も総合教育会議など等で、市長部局等にもよく周知してください。

そして、今言ったように、予算は一切要らないわけです。場所を変えさえすればいいんです。

それで、もう少し具体的なことを申し上げておきます。

けいめいの学童の場合、今、一応、施設に合わせて定員も抑えていますけど、新年度は増えるということを聞いています。それから、鶏鳴小学校に肢体不自由の子供さんが入学すると聞いています。その肢体不自由の子供さんは、学童は巖原に預かってもらうというようなことで、今話が進んでいると聞いています。肢体不自由な子供さんを、雞知から巖原まで放課後通わせるというのは、不合理じゃないですか。雞知でももう少しスペースのあるところ、学校をそのまま使えばいいんですよ。保健室も空いてますよ、放課後ね。そして、そこで親が迎えに来るまで学童が世話をすると。市長、施設云々、運営も法人に任せるということですが、そうじゃないでしょうか、もう少し、よくそこらあたりを詰めてください。

時間が残り7分になりましたので、このことは、いわゆる再検討をしていただくということでお願いをしておきます。

そしてもう一つ、学童の場合は専用スペースというの也要ります。具合が悪くなった子供を休ませるスペースが要りますね。これ、部長は御存じです。

それから、小学校、今3年までで終わってますけど、4年以上の子供たちを学童で——募集、今してませんが、募集すべきだと思います。4年以上の子供たちでも、家庭に帰らないで、学校で過ごしたほうが安全な子供たちがいるということも、もう一度確認をお願いします。

それから、あとは、観光案内板・観光説明板関係について、ちょっと触れさせていただきます。

私は、1月19日だったと記憶していますが、金田城跡、城山に行きました。そのとき、行ったときの案内板等、これは、よく観光客を案内されるタクシーの運転手さんから聞いていたんです。駐車場問題、それから案内板関係が不安なので、初めて来られた方はなかなか城山を楽しむことができませんよということで。それで、早速、今年度は、いわゆるARや、それからVRを、新しいものを作るということで、説明があつてますので、大いに期待したいと思います。

ただ、機器を幾らうまく設備しても、それが現場で実際にうまく合致するかどうかという点で、少し説明をさせていただきます。

ここ、入り口、道路標識ですか、案内の合図の際に分かりました。よく分かりました。

それから2番も、ここ、国の特別史跡だとよく分かりました。

ところが、それから先です。3番、ここの説明板は、もう何十年かたって、見えません。それから、これは説明板というより、どこが指定されているかということの指定区域を示したものです。

私、車で行ったんです。これ、車の中から、軽トラから撮った写真です。ここに、ボックスが

1つあります。それから、ここにちっちゃい案内板があります。これ、車の中からは見えません。ここまではみんな車で行くわけですからね。

そして、次、その説明板はこれです。用紙1枚に書いてあるから車の中からは見えません。それから、ここにボックスがあります。これは、私、行くときには気がつきませんでした。帰りに見てみたら、ここの中に注意書きと、それからリーフレットが入っていました。

で、車運転して行きよると、途中でちっちゃい貼り紙がありましたけど、これ、見えません、車の中からは。今度は、途中で車が逆方向に停めてありました、スペースがあつて。これは、多分、行ってみて舗装が過ぎた後で不安になって、ここで停めてUターンされた方です。

そうして行ってみますと、熊本から来られた方々と、私、お会いしました。そして、ここは駐車場です。そして、熊本から来た人方がおっしゃったこと、すばらしい景色でしたねって、すばらしいところですねっておっしゃいました。

それから、今度、途中、中にこういう説明板があるんですよ。この説明板が、本来なら入り口に誘導サインとしてなかったらいけないと思うんです。入り口にはなくて、中に、これはありました。

それから、今度は頂上に行くのに、また貼り紙、ちっちゃい専用シート、A4の紙か何かの1枚で、これも頂上に行くのにはよく分かりません。

そういうことで、今度は頂上に行きました。頂上に行ったら、標識が飛んでいました。飛んでどこにあるかいうたら、この岩陰に置いてありました。

この状況を、やはり登る人、初めて来た人が見たら、とても不案内で、対馬のせっかくの第一級の観光地が、こういう状況です。

それで、こういう状況を改善するために3年度予算でも大きな予算を組まれましたから、大きな期待をしております。

で、やっぱ、これ、足りないのは何かということをおなりに考えたら、初めて来た人の目線、それから車で来る人の目線、それから歩き出してからトレッキングする目線、つまり、利用する立場での目線が弱いと感じましたけど、市長、いかがでしょうか。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 今、ちょっと写真を見せていただきましたけど、ちょっとこちらのほうの配慮がもう少し足らなかったところが多々あるかなということで、この令和3年度も含めて、早いうちに改善をしたいというふうに思います。

○議長（小川 廣康君） 5番、小島徳重君。

○議員（5番 小島 徳重君） そうですね。それと比べて、白嶽。白嶽は、ここに、いわゆる誘導の看板が2つ、駐車場にあります。そしてもう一つ、地図で詳しく説明板があります。

やはり、ここは、いわゆる一般の観光地ですから。今回の城山のほうは教育委員会が文化財として絡みますよね。そういう意味で、その連携という点で、やはり私は不十分じゃないかと思いますが、このことについては、市長、いかがでしょう。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 以前も文化財課関係の件で御質問を受けたところでありますけども、今後、さらに観光商工課関係と連携を密にしながら、対馬市の観光行政を前進させていきたいというふうに思います。

○議長（小川 廣康君） はい。

これで、小島徳重君の質問は終わりました。

---

○議長（小川 廣康君） 以上で、本日予定しておりました市政一般質問は終わります。

明日も引き続き、定刻から市政一般質問を行います。

本日はこれで散会とします。お疲れさまでした。

午後2時44分散会

---